

上富良野高と美瑛高 特別理科授業

十勝岳と町の関係学ぶ

ジオパーク全国大会控え

【旭川発】上富良野高校

(森雅義校長)と美瑛高校

(三上英一校長)は9月26

日、上富良野高で十勝岳の

火山の仕組みなどを実験で

学ぶ「特別理科授業」を実

施した「写真」。9月27、

28日に美瑛町と上富良野町

で行われた日本ジオパーク

全国大会に合わせたもの

で、十勝岳ジオパーク推進

協議会職員が講師として来

校。両校生徒が、自身の住

む町と火山との関係や火山

の仕組みを学習した。

授業は、同協議会との協

働事業。地球科学的に貴重

な地形や地質が観察できる

「ジオパーク」の活用に向

けて意見を交わす「日本ジ

オパーク全国大会十勝岳大

会」が9月27、28日に上富

良野町と美瑛町で開催され

ることに合わせ、会場地の

高校生に火山のことを知っ

てもらおうと同協議会が企

画した。

上富良野高の総合的な探



をかけ、両校の生徒
を対象に行われるこ
とになった。

当日は、上富良野
高生徒69人と美瑛高
生徒41人が参加。十
勝岳ジオパーク推進
協議会職員らが体育
館と校庭に用意した
六つのブースで披露
する実験を見学し
た。

うち大正15年に起

究の時間の活動に協力して

いる同協議会が、同校の理

科担当教諭の宮腰幸樹教務

主任に声をかけて実現。総

合的な探究の時間の授業時

数の関係で、理科の特別授

業として開催した。

また、同じ十勝岳が位置

する美瑛町の美瑛高にも声

熱した塩をふるいで散布。
溶けたアイスクリームがき
な粉を巻き込みながら広い
範囲を勢いよく流れる様子
を見せて、融雪型火山泥流
の危険性を紹介した。

このほか、冷えた溶岩が
火口付近に積み、崖錐斜
面が造られてできる円すい
台形の山「スコリア丘」を
砂で再現する実験や砂利を
熱して作った溶岩を水の中
に入れて様子を観察する実
験などが行われた。

両校の生徒たちは「自分
が住んでいる町の地形の成
り立ちや仕組みを知ること
ができた。とても面白かつ
た」「普段の理科の授業で
見る実験とは全く違って、
新鮮だった」などと感想
を話した。